



創立70年を記念した日本福祉大のシンポジウム(22日、名古屋市中区で)

健康で文化的な社会へ

日本福祉大70周年シンポ

学園創立70年を迎えた日本福祉大が22日、名古屋市中区で記念シンポジウムを開催した。

同大は1953年に福祉を学ぶ中部社会事業短期大として名古屋市中で開学、57年に改組、83年に美浜町に移転した。現在、両市町など4キャンパス8学部

に1万人を超える学生が在籍している。

シンポジウムでは、70周年宣言として掲げ、誰もが健康で文化的な生活を送ることが保障されている社会を目指す「Well-being for All」に向けた提言があった。全国社会福祉協議会の村木厚

子会長や国立長寿医療研究センターの荒井秀典理事長、経団連の榊原定征名誉会長が、それぞれの立場から福祉や健康長寿、労働課題などに関して意見を述べた。

70周年の節目にあたって、原田正樹学長は「普通の暮らしが続く幸せを今後にも探究していく」と決意を語った。この日はシンポジウムに続き、記念式典も開かれた。同大では、2025年度まで記念事業を展開する。